

文書番号	SE9001	04
------	--------	----



エコアクション21

2017年度 環境活動レポート

(2017年6月～2018年5月)

発行 2018年 9月 3日(改訂日 2018年11月 5日)

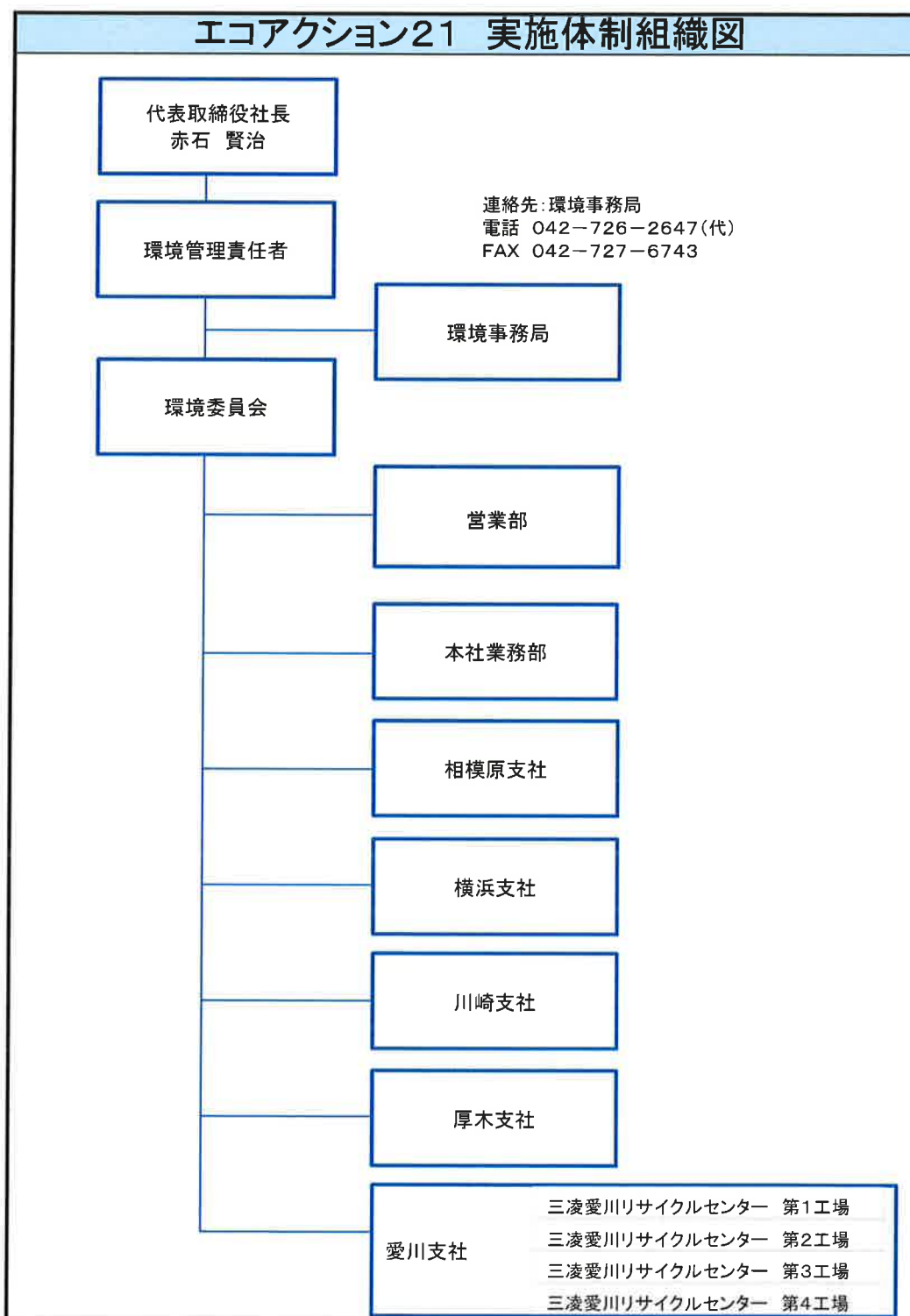


三凌商事

組織の概要	
名称	株式会社 三凌商事
設立	1975年(昭和50年)9月10日
資本金	4,000万円
代表	代表取締役社長 赤石 賢治

対象事業所	
事業所	本社
所在地	東京都町田市木曽東1-34-6 電話 042-726-2647(代) FAX 042-727-6743
床面積	340㎡
従業員	79名
事業所	横浜支社
所在地	神奈川県横浜市緑区長津田町4397-4 電話 045-985-3751 FAX 045-985-3730
床面積	24㎡
従業員	17名
事業所	川崎支社
所在地	神奈川県川崎市麻生区下麻生2-12-25 電話 044-981-3877 FAX 044-981-3880
床面積	114㎡
従業員	11名
事業所	相模原支社
所在地	神奈川県相模原市緑区橋本台1-14-13 電話 042-774-3231 FAX 042-773-7388
床面積	278㎡
従業員	46名
事業所	厚木支社
所在地	神奈川県厚木市旭町1-21-8 電話 046-228-0472 FAX 046-285-3336
床面積	60㎡
従業員	4名
事業所	三凌愛川リサイクルセンター 第1工場
所在地	神奈川県愛甲郡愛川町中津6766-1 電話 046-286-9561 FAX 046-285-3336
床面積	871㎡
従業員	4名
事業所	三凌愛川リサイクルセンター 第2工場
所在地	神奈川県愛甲郡愛川町中津6903-1 電話 046-285-2871 FAX 046-285-3336
床面積	3,366㎡
従業員	2名
事業所	三凌愛川リサイクルセンター 第3工場
所在地	神奈川県愛甲郡愛川町中津6767-1 電話 046-285-1126 FAX 046-285-3336
床面積	785㎡
従業員	1名
事業所	三凌愛川リサイクルセンター 第4工場
所在地	神奈川県愛甲郡愛川町中津6897-2 電話 046-284-5566 FAX 046-285-7700
床面積	3,682㎡
従業員	18名

環境管理責任者並び各担当者	
役割	所属
環境管理責任者	総務部
事務局担当者	総務部
環境各担当者	営業部
	本社業務部
	横浜支社
	川崎支社
	相模原支社
	厚木支社
	愛川支社



事業活動

- ・ 一般廃棄物収集運搬
- ・ 産業廃棄物収集運搬
- ・ 販売業

脱臭装置、脱臭剤等の装置及び工業薬品の販売

- ・ フィールドメンテナンス
道路、側溝、管路、公園等の清掃
- ・ ビルメンテナンス
ビル清掃全般

愛川支社の事業活動(保有施設)

- ・ 第一工場 産業廃棄物処分業
沈降分離・脱水施設、熔融施設
- ・ 第二工場 産業廃棄物処分業
堆肥化施設
- ・ 第三工場 一般廃棄物処分業
粉碎・破碎施設
- ・ 第四工場 産業廃棄物処分業
機械選別施設、破碎施設、圧縮施設

使用車両 ・ 使用重機

NO	使用車両	台数
1	塵芥車	82
2	脱着装置コンテナ車	15
3	平ボディ(リフト付)	10
4	平ボディ	9
5	ダンプ車	9
6	吸引車(汚泥吸引車)	5
7	粉粒体運搬車	3
8	吸引車(バキューム車)	3
9	高圧洗浄車	5
10	散水車	2
11	作業用具運搬車	2
12	軽トラック車	2
13	アルミコンテナ箱車	1

NO	使用車両	台数
14	路面清掃車	1
15	軽乗用車	1
16	乗用車	32
合計		148

NO	使用重機	台数
1	フォークリフト	5
2	ショベルローダー	2
3	ミニユンボ	1
4	ホイールローダー	1
5	油圧ショベル	3
合計		12

処理量

収集運搬した廃棄物の処理量		
年度	産廃(t)	一般廃(t)
2015年度	15,413 t	37,472 t
2016年度	14,082 t	37,670 t
2017年度	16,776 t	27,083 t
※各年度は6月～5月となります。		

中間処理(受入)した廃棄物の処理量		
年度	産廃(t)	一般廃(t)
2015年度	5,458 t	483 t
2016年度	6,444 t	544 t
2017年度	6,342 t	444 t
※各年度は6月～5月となります。		

事業の規模

売上高	
年度	全体
2015年度	3,867百万円
2016年度	3,843百万円
2017年度	3,612百万円

※各年度は6月～5月となります。

一般廃棄物取得許可一覧表

2018年 9月 1日現在

地区	業種名	自治体名	許可番号	文書番号	許可年月日	許可期限	種類 (制限等)
東京都	一般廃棄物 収集運搬	町田市	第21号		2018年4月1日	2020年3月31日	紙くず・厨芥類・木くず・繊維くず・剪定枝・畳・ディスプレイ汚泥・特定家庭用機器廃棄物
	〃	多摩市	第5号		平成30年4月1日	平成32年3月31日	事業系一般廃棄物(普通ごみ)
	〃	八王子市	許可第032号		平成30年7月18日	平成32年7月31日	事業系一般廃棄物 (厨芥、木くず、紙くず、繊維くず)
	〃	東村山市	許可第42号		平成30年8月11日	平成32年8月10日	一般廃棄物(ごみ)
	〃	稲城市	許可一廃第18号		平成30年7月13日	平成32年7月19日	事業系一般廃棄物
	〃	狛江市	許可一廃第17号		平成28年9月1日	平成32年8月31日	厨芥・紙くず
神奈川県	〃	横浜市	第1057号		平成30年4月1日	平成32年3月31日	一般廃棄物(ごみ)
	〃	川崎市	許可番号 第0054号		平成28年10月1日	平成30年9月30日	制限: 取り扱う一般廃棄物は事業活動に伴って生じたものに限る。 ※食品廃棄物等の収集運搬は、川崎市の焼却施設へ搬入する車両以外の専用車両で行うものに限る。
	〃	厚木市	厚木市指令第83号		平成30年4月1日	平成32年3月31日	ごみ(一般廃棄物)
	〃	相模原市	相許可第A0036号	相模原市指令(廃指一) 第75号	平成30年4月1日	平成32年3月31日	一般廃棄物(ごみ)
	〃	愛川町	第29-10号		平成30年4月1日	平成32年3月31日	一般廃棄物 (生ごみ・紙くず・木くず・剪定枝)
	一般廃棄物 処分	愛川町	第29-11号		平成30年3月11日	平成32年3月10日	一般廃棄物 (木くず・剪定枝・草)

産業廃棄物取得許可一覧表

2018年 9月 1日現在

業種名	所轄庁	許可番号	許可年月日	許可期限	品目数	許可品目
産業廃棄物収集運搬業 (保管・積替えを含まない)	東京都	13-00-008292	平成27年2月23日	平成34年2月22日	15	燃、汚、廃油、廃酸、廃ア、プ、紙、木、織、動植、金、ガ、鉦、がれき、ばいじん (石綿含有産業廃棄物を含む) (水銀使用製品産業廃棄物を含む)(水銀含有ばいじん等を含む) ※産廃エキスパート認定番号:3-14-A0030
産業廃棄物収集運搬業 (積替・保管を含む)	神奈川県	01412008292	平成26年10月24日	平成33年9月19日	16	ア(積替・保管を除く)燃、汚、廃油、廃酸、廃ア、プ、紙、木、織、動植、ゴム、金、ガ、鉦、がれき、ばいじん (プ、ガ、がれきは石綿含有産業廃棄物を含む) (水銀使用製品産業廃棄物を含む)(燃、汚、廃酸、廃ア、鉦、ばいじんは水銀含有ばいじん等を含む)イ(積替・保管を含む)汚、プ、金、ガ(すべて水銀使用製品産業廃棄物に限る。)
産業廃棄物収集運搬業 (保管・積替えを含まない)	埼玉県	01100008292	平成29年1月24日	平成35年12月25日	12	燃、汚、廃酸、廃ア、プ、紙、木、動植、金、ガ、がれき、ばいじん (プ、ガ、がれきは石綿含有産業廃棄物を含む) * 汚・廃酸・廃ア・プ・金・ガは水銀使用製品産業廃棄物を含む
"	長野県	2009008292	平成25年9月19日	平成30年9月18日	8	燃、汚、廃油、プ、紙、木、金、ガ (プ、ガは石綿含有産業廃棄物を含む。 プ、金、ガは、自動車等破砕物を除く。)
"	山梨県	01900008292	平成28年11月29日	平成35年11月28日	12	燃、汚、廃油、廃酸、廃ア、プ、紙、木、織、金、ガ、がれき *ただし、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含有ばいじん等を含まない
"	栃木県	00900008292	平成26年12月16日	平成33年12月15日	3	燃、汚、ばいじん
"	静岡県	02201008292	平成28年3月22日	平成35年3月21日	1	汚
"	千葉県	01200008292	平成29年8月9日	平成36年5月30日	16	燃、汚、廃油、廃酸、廃ア、プ、紙、木、織、動植、ゴム、金、ガ、鉦、がれき、ばいじん (プ、ガ、がれきは石綿含有産業廃棄物を含む。プ、金、ガは水銀使用製品産業廃棄物を含み自動車等破砕物を除く。) (汚・廃油・廃酸・廃アは水銀使用製品産業廃棄物を含む)(ばいじんは水銀含有ばいじんを含む)
産業廃棄物処分業	神奈川県	01422008292	平成26年10月20日	平成33年9月19日	10	ア 沈殿分離一汚(水路、下水道管渠及び道路側溝から排出されたものに限る) イ 脱水一汚(水路、下水道管渠及び道路側溝、マンホール、ビルビト等の高速洗浄に伴って発生するスラリー状のものに限る) ウ 溶融一汚(再生可能なものに限る) エ 堆肥化一汚、木、動植、ふん オ 選別一汚、紙、木、織、金、ガ、がれき カ 破砕一汚、木、ガ、金、プ(ガ金プは蛍光管に限る) キ 圧縮一汚 (プ・金・ガ(蛍光管にかぎる) * 水銀使用製品産業廃棄物を含む)

※ 青色のセルは優良事業者認定された自治体

神奈川県産業廃棄物収集運搬業 積替え保管施設

設置場所：神奈川県愛甲郡愛川町中津字大塚下6900番3

・廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず
(水銀使用製品産業廃棄物)

①コンテナ倉庫 保管面積 5.83㎡ 最大保管量 6.05㎡ 高さ 1.73m

・汚泥、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず
(水銀使用製品産業廃棄物)

②コンテナ倉庫 保管面積 6.01㎡ 最大保管量 4.63㎡ 高さ 1.70m

三凌愛川リサイクルセンター 第1工場

神奈川県愛甲郡愛川町中津字大塚下6766番1

許可番号：産業廃棄物処分業 神奈川県 第0142008292号

施設の種類	沈降分離・脱水施設
処理する産業廃棄物の種類	汚泥
処理能力	沈降分離施設 9m ³ /日(8時間) 脱水施設 6.4m ³ /日(8時間)
処理方法	沈降分離方式 ベルトプレス方式
保管施設	受入汚泥貯留槽 最大保管量 17m ³ 脱水汚泥貯留槽 最大保管量 1m ³ 脱水汚泥保管ピット 保管面積 25m ² 最大保管量 26.25m ³

施設の種類	熔融施設
処理する産業廃棄物の種類	廃プラスチック類
処理能力	1.0t/日(8時間)
処理方法	熔融処理方式
保管施設	廃プラスチック類置き場(屋内) 29m ² ×2 最大保管量 214m ³ プラスチック成型品置き場(野外) 6m ² 最大保管量 4.5t 高さ 2m

平成26年2月8日掲載

三波置川リサイクルセンター第1工場
汚泥処理施設
処理工程図

収集運搬業者

汚泥

受入

沈降分離槽

沈降分離

ベルトプレス機

脱水

再生水処理系

中和・殺菌

再生水

工場内の
洗浄水として使用

洗浄水

大気放出

脱水機

臭気

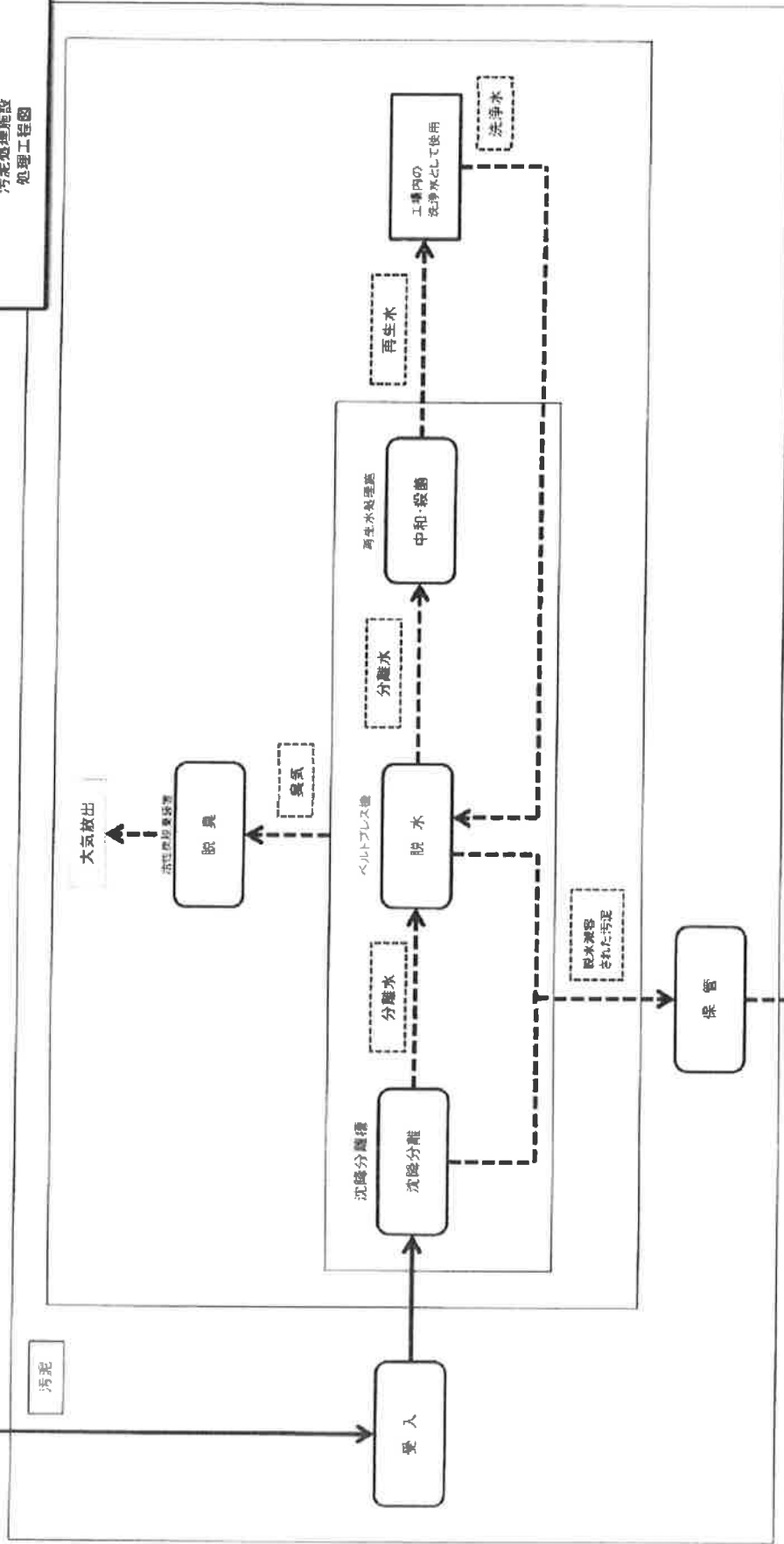
保管

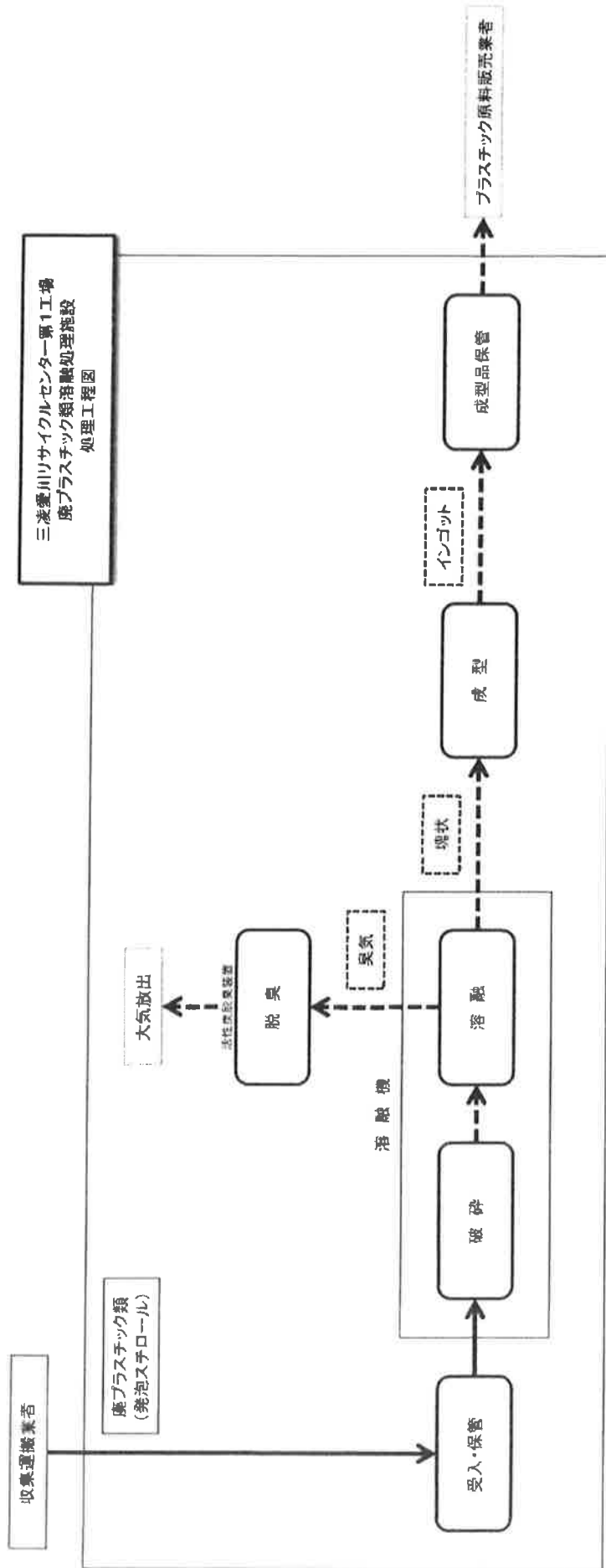
焼却施設

最終処分場

固化施設

再生土



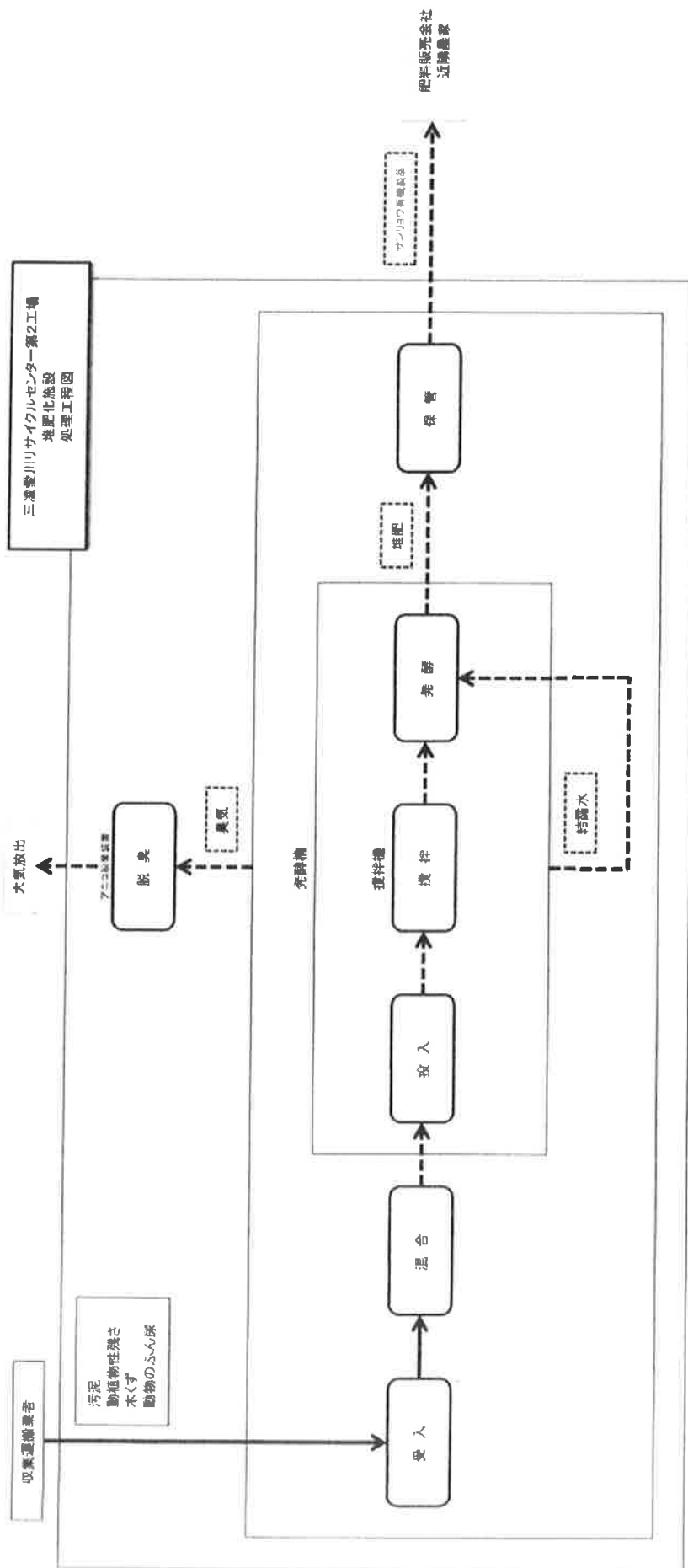


三凌愛川リサイクルセンター 第2工場

神奈川県愛甲郡愛川町中津字大塚下6903番1、6906番1

許可番号：産業廃棄物処分業 神奈川県 第0142008292号

施設の種類	堆肥化施設
処理する産業廃棄物の種類	汚泥、木くず、動植物性残さ、動物のふん尿
処理能力	18.7m ³ /日(24時間)
処理方法	発酵熟成
保管施設	汚泥・動植物性残さ・動物のふん尿置き場 保管面積 35.75m ² 最大保管量 32.17m ³
	木くず置き場 フレコンバッグ80袋 保管面積 49.5m ² 最大保管量 30m ³
	肥料製品置き場 保管面積 328m ² 最大保管量 745m ³

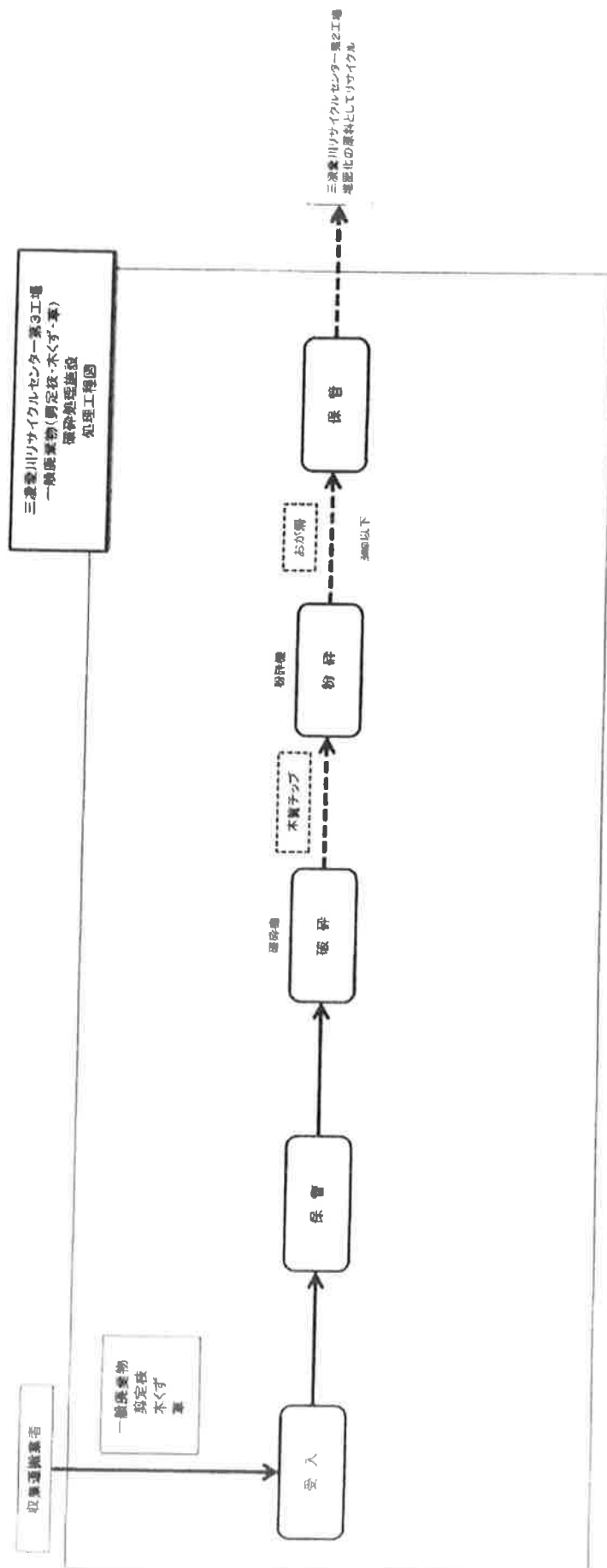


三凌愛川リサイクルセンター 第3工場

神奈川県愛甲郡愛川町中津字大塚下6767番1及び2

許可番号：一般廃棄物処分業 愛川町 第27-11号

施設の種類	剪定枝・木くず・草 破碎施設
処理する産業廃棄物の種類	剪定枝・木くず・草(一般廃棄物)
処理能力	5t未満/日(8時間)
処理方法	粉碎・破碎



三凌愛川リサイクルセンター 第4工場

神奈川県愛甲郡愛川町中津字大塚下6897番2、6900番2及び3

許可番号：産業廃棄物処分業 神奈川県 第0142008292号

施設の種類	機械選別施設
処理する産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類
処理能力	300t/日(8時間)
処理方法	機械選別

施設の種類	破碎施設
処理する産業廃棄物の種類	木くず
処理能力	4.3t/日
処理方法	二軸剪断・引裂式

施設の種類	圧縮施設
処理する産業廃棄物の種類	廃プラスチック類
処理能力	1.26t/日(8時間)
処理方法	手動縦型圧縮減容機

施設の種類	破碎施設
処理する産業廃棄物の種類	廃蛍光管(ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、金属くず、 廃プラスチック類)
処理能力	3.6t/日(8時間)
処理方法	二軸式破碎

保管施設			
受入廃棄物ピット			
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類			
保管面積		103.28㎡	最大保管量 171㎡ 保管高さ 4m
受入廃蛍光管(ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、金属くず、廃プラスチック類)			
保管場所	パレット 4枚×1段積み	保管面積 7.84㎡	最大保管量 6.91㎡
廃プラスチック類	パレット 15枚×2段積み	保管面積 22.04㎡	最大保管量 47.4㎡
廃プラスチック類	コンテナ 3基×2段積み	保管面積 11.02㎡	最大保管量 23.58㎡
紙くず	コンテナ 3基×2段積み	保管面積 11.02㎡	最大保管量 23.58㎡
木くずピット	保管面積 25.2㎡	最大保管量 25.2㎡	保管高さ 2m
繊維くず	コンテナ 3基×2段積み	保管面積 11.02㎡	最大保管量 23.58㎡
金属くず	コンテナ 3基×2段積み	保管面積 11.02㎡	最大保管量 23.58㎡
金属くずピット	保管面積 25.2㎡	最大保管量 25.2㎡	保管高さ 2m
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず			
コンテナ 6基×2段積み		保管面積 22.04㎡	最大保管量 47.16㎡
がれき類ピット	保管面積 22.04㎡	最大保管量 20.93㎡	保管高さ 1.9m
処理残さピット	保管面積 22.04㎡	最大保管量 20.93㎡	保管高さ 1.9m
受入廃蛍光管破碎物(ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、金属くず、廃プラスチック類)			
保管場所	蓋付ドラム缶詰 48缶×1段積み	保管面積 20㎡	最大保管量 5.7t

エコアクション21 環境方針

環境理念

株式会社三凌商事は、事業活動が地球温暖化に関わっていることを認識し、社員全員で地域社会と地球環境保全に対する取り組みを積極的に推進し、環境負荷の低減に努めます。

環境方針

株式会社三凌商事は、全ての事業活動を通じ環境保全を重要課題として取り組み、以下の行動指針を定め、その実現に取り組みます。

行動指針

1. 省資源・省エネルギーに努めます。
 - 再生紙・裏紙の使用・グリーン購入
 - 電力・水の使用量を削減
 - エコドライブの推進による使用燃料・二酸化炭素排出量の削減
 - 自社中間処理施設における受託廃棄物のリサイクル率向上
 - 自社中間処理施設で使用する化学物質使用量の削減
2. 環境関連法規の遵守に誓約します。
 - 環境関連の諸法規及び当社が同意した各種協定の遵守
3. 環境意識の向上を図ります。
 - 社員の環境教育を定期的を実施
 - 地域の環境行事に積極的に参加
4. 継続的環境改善を実施します。
 - 環境目標・行動計画を設定し、環境経営システムの運用と継続的改善を実施

このエコアクション21環境方針を全社員に周知すると共に、一般にも公開します。

2008年6月2日（改訂2017年7月6日）

代表取締役社長

赤石 賢治

2017年度 環境目標と環境活動計画（愛川支社を除く全社）

I 環境目標

1. 中期計画 2018年6月1日～2021年5月31日（4年間）
2. 基準年 2017年6月1日～2018年5月31日（1年間）
3. 目標 2017年度実績に基づき、削減を下表のとおり設定する。

NO	目標値	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
		%	実績	0.2%削減	0.4%削減	0.6%削減	0.8%削減
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	1,771,295	1,767,752	1,760,681	1,750,117	1,736,116
2	総排水量の削減	m ³	2,115	2,111	2,102	2,090	2,073
3	廃棄物の削減	t	3.03	3.02	3.01	2.99	2.97

II 環境活動の取組

1. 二酸化炭素排出量の削減（温室効果ガス排出量の削減：電気・車両燃料・ガス）
2. 総排水量の削減（下水道・上水）
3. 当事業所から排出される廃棄物量の削減（事務所内の一般廃棄物・産業廃棄物）
4. グリーン購入品目の検討
5. 愛川支社以外では化学物質は使用していません

III 環境活動の内容

NO	活動項目		活動内容
1	二酸化炭素排出量の削減 （温室効果ガス排出量の削減）	電気	① 月間使用量の把握
			② エアコンの温度管理（暖房22℃、冷房28℃）
			③ 不要照明の消灯（昼休み未使用箇所・トイレ）
			④ 機器・機械類不使用時のOFF（ディスプレイパワーオフ）
		燃料	① 月間使用量の把握
			② 車両・建設機械の点検整備
			③ 車両エコドライブ
		ガス	① 月間使用量の把握
			② 朝礼等で節ガスを啓蒙
2	総排水量の削減	水	① 水使用量の把握
			② 朝礼等で節水を啓蒙
3	当事業所から排出される廃棄物量の削減	廃棄物	① 廃棄物排出量の把握
			② 朝礼等で分別徹底の啓蒙
			③ 裏紙使用によるOA用紙の節約
4	グリーン購入	物品等	① グリーン購入品目の検討

※ 基準年度：前年度実績とする。

※ 二酸化炭素排出量数値を求め、確認・評価すること。

2017年度 環境目標と環境活動計画（愛川支社）

I 環境目標

1. 中期計画 2018年6月1日～2021年5月31日（4年間）
2. 基準年 2017年6月1日～2018年5月31日（1年間）
3. 目標 2017年度実績に基づき、下表のとおり設定する。

NO	目標値	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
		%	実績	10%以内の増加	2017年度実績を維持	2017年度実績を維持	2017年度実績を維持
1	二酸化炭素排出量の抑制	kg-CO2	407,125	447,838	447,838	447,838	447,838
2	総排水量の抑制	m ³	1,304	1,434	1,434	1,434	1,434
3	事業所の廃棄物量の抑制	t	0.37	0.41	0.41	0.41	0.41

※2018年の目標値が増加になっているのは愛川支社が2018年から車両11台増加、従業員9名増員になったため、削減は困難なので2017年実績の10%以内の増加を目標値に定めた。

II 環境活動の取組

1. 二酸化炭素排出量の抑制（温室効果ガス排出量の抑制：電気・車両燃料・ガス）
2. 総排水量の抑制（下水道・上水）
3. 当事業所から排出される廃棄物量の抑制（事務所内の一般廃棄物・産業廃棄物）
4. 受託廃棄物のリサイクル率の増加（一般廃棄物・産業廃棄物）
5. グリーン購入品目の検討
6. 使用している化学物質名：アクリル酸（高分子凝集剤） 年間使用量30kg
少量のため目標設定はしていないが、収支管理をしています

III 環境活動の内容

NO	活動項目	活動内容
1	二酸化炭素排出量の抑制 （温室効果ガス排出量の抑制）	電気
		① 月間使用量の把握
		② エアコンの温度管理（暖房22℃、冷房28℃）
		③ 不要照明の消灯（昼休み未使用個所・トイレ）
		④ 機器・機械類不使用時のOFF（ディスプレイパワーオフ）
		燃料
		① 月間使用量の把握
		② 車両・建設機械の点検整備
		③ 車両エコドライブ
		ガス
		① 月間使用量の把握
		② 朝礼等で節ガスを啓蒙
2	総排水量の抑制	水
		① 水使用量の把握
		② 朝礼等で節水を啓蒙
3	当事業所から排出される廃棄物量の抑制	廃棄物
		① 廃棄物排出量の把握
		② 朝礼等で分別徹底の啓蒙
4	受託廃棄物のリサイクル率の増加	廃棄物
		① 廃棄物受託量の把握
		② リサイクル目標の啓蒙
5	グリーン購入	物品等
		① グリーン購入品目の検討

※ 基準年度：前年度実績とする。

※ 二酸化炭素排出量数値を求め、確認・評価すること。

愛川支社を除く達成状況及びその計画

- 中長期環境目標と2017年度主要な環境活動計画の内容と達成状況及びその評価
 <2017年 6月 1日 ~ 2018年 5月31日までの数値となります>

二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)

活動項目	排出係数	目標値	実績	達成率(%)
電 気	0.579kg-CO2/kWh	70,303	71,733	× 2.0%超過
ガソリン	2.320	72,521	57,020	○ 21%削減
軽 油	2.580	1,690,955	1,635,563	○ 3.3%削減
ガ ス	5.970	8,289	6,980	○ 15%削減
合 計		1,842,068	1,771,296	○ 3.8%削減

○ 電気のみ目標値に達成しなかったが
 他の3項目は達成出来た。

○ ガソリン、軽油は車両が愛川支社へ移動
 したので削減することが出来た。

※ 横浜支社はガス設備なし。厚木支社は電気、ガス
 等の光熱費は家賃に含まれて算出が不可能です。

総排水量の削減 (m3)

活動項目	目標値	実績	達成率(%)
下水道・上水	2,326	2,115	○ 9.0%削減

○ 目標値よりは削減出来たが来年以降の
 削減率は低くなると思われる。

※ 横浜支社・厚木支社を除く。

廃棄物の削減 (kg)

活動項目	目標値	実績	達成率(%)
一般廃棄物	1,944	1,664	○ 14%削減
産業廃棄物	1,305	1,371	× 5.0%超過
合 計	3,249	3,035	○ 6.5%削減

○ 一般廃棄物の削減は進んだが産業廃棄
 物は車庫の整理等を行ったために増加し
 てしまった。

愛川支社を除く総合評価

全体として多くの項目について削減をすることができた事実とその影で一人ひとりの地道な努力の積み重ねがあったことを踏まえ、今年度はとても良い評価ができるものと思われます。

電気と自社産業廃棄物排出量が今回は目標の達成と至りませんでした。全体的に削減傾向になったことが来年度への弾みとなることを思い、次なる継続的改善に向け、また全員で一つの目標に向かって個々の力を遺憾なく発揮できるようにしていきたいと思ひます。

2018年8月20日
 環境管理責任者 大崎 秀也

愛川支社 達成状況及びその計画

- 中長期環境目標と2017年度主要な環境活動計画の内容と達成状況及びその評価
 <2017年 6月 1日 ~ 2018年 5月31日までの数値となります>

二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO₂)

活動項目	排出係数	目標値	実績	第1工場	第2工場	第3工場	第4工場	達成率(%)
電 気	0.579kg-CO ₂ /kWh	286,878	279,286	38,274	179,844	31,955	29,213	○ 2.6%削減
ガソリン	2.320	5,150	5,982	4,477	未使用	未使用	1,505	× 16%超過
軽油(車)	2.580	10,183	42,709	未使用	未使用	未使用	42,709	× 320%超過
軽油(重機)	2.580	79,694	75,388	6,996	9,676	12,977	45,739	○ 5.4%削減
ガ ス	5.970	3,475	3,761	未使用	2,009	未使用	1,752	× 8.2%超過
合 計		385,380	407,126	49,747	191,529	44,932	120,918	× 5.6%超過

総排水量の削減 (m³)

活動項目	目標値	実績	第1工場	第2工場	第3工場	第4工場	達成率(%)
下水道・上水	370	1,304	42	740	167	355	× 252%超過

自社事業所から排出される廃棄物の削減 (kg)

活動項目	目標値	実績	第1工場	第2工場	第3工場	第4工場	達成率(%)
一般廃棄物	360	371	96	64	0	211	× 3.1%増加
産業廃棄物	60	60	60	0	0	0	○ 増減なし
合 計	420	431	156	64	0	211	○ 2.6%削減

受入廃棄物量及びリサイクル量 (t)

活動項目	実績の把握		第1工場	第2工場	第3工場	第4工場	達成率(%)
一般廃棄物	受入量	444.46	非該当	非該当	444.46	非該当	○ 100% 達成
	リサイクル量	444.46			444.46		
産業廃棄物	受入量	6,342.75	1,670.22	2,136.07	非該当	2,536.46	× 61.1% 未達成
	リサイクル量	3,895.56	489.67	2,143.19		1,262.70	

愛川支社総合評価

今年度後半に事業拡大に伴い在籍数及び車両台数の増加があり様々な目標項目を達成するに至らなかった。
 目標の達成に至らなかったが、来期も事業拡大に伴う人員増加や車両増加を考慮し、新たな省エネ省資源の目標値の検討を行って参りたい。
 急激な市場の変化があり(中国廃プラスチック類の受け入れ拒否)目標の設定は、困難な状況となっています。現状では受け入れた廃棄物の分別を徹底して、再資源化することで廃棄物発生率を下げるようにしています。受入量・再資源化率の目標設定は検討中です。
 事業形態の変化に合わせ目標などを検討しながら来年度はより良いものになれるよう努力していきたいと思ひます。

2018年8月23日

環境管理責任者 大崎 秀也

全社分 二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2) 達成状況及びその計画

- 中長期環境目標と2017年度主要な環境活動計画の内容と達成状況及びその評価
 <2017年 6月 1日 ~ 2018年 5月31日までの数値となります>

全社分 二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2)

活動項目	排出係数	目標値	実績	—	—	—	—	達成率(%)
電 気	0.579kg-CO2/kWh	357,181	351,019	—	—	—	—	○ 1.7%削減
ガソリン	2.320	77,671	63,002	—	—	—	—	○ 18.9%削減
軽油(車)	2.580	1,701,138	1,678,272	—	—	—	—	○ 1.4%削減
軽油(重機)	2.580	79,694	75,388	—	—	—	—	○ 5.5%削減
ガ ス	5.970	11,764	10,741	—	—	—	—	○ 8.7%削減
合 計		2,227,448	2,178,422	—	—	—	—	○ 2.3%削減

◇ 内訳

愛川支社以外 二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2)

活動項目	排出係数	目標値	実績	—	—	—	—	達成率(%)
電 気	0.579kg-CO2/kWh	70,303	71,733	—	—	—	—	× 2.0%超過
ガソリン	2.320	72,521	57,020	—	—	—	—	○ 21%削減
軽油(車)	2.580	1,690,955	1,635,563	—	—	—	—	○ 3.3%削減
ガ ス	5.970	8,289	6,980	—	—	—	—	○ 15%削減
合 計		1,842,068	1,771,296	—	—	—	—	○ 3.8%削減

愛川支社 二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2)

活動項目	排出係数	目標値	実績	第1工場	第2工場	第3工場	第4工場	達成率(%)
電 気	0.579kg-CO2/kWh	286,878	279,286	38,274	179,844	31,955	29,213	○ 2.6%削減
ガソリン	2.320	5,150	5,982	4,477	未使用	未使用	1,505	× 16%超過
軽油(車)	2.580	10,183	42,709	未使用	未使用	未使用	42,709	× 320%超過
軽油(重機)	2.580	79,694	75,388	6,996	9,676	12,977	45,739	○ 5.4%削減
ガ ス	5.970	3,475	3,761	未使用	2,009	未使用	1,752	× 8.2%超過
合 計		385,380	407,126	49,747	191,529	44,932	120,918	× 5.6%超過

全社分 二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2) 総合評価

当社全体として二酸化炭素排出量の削減目標は電気、燃料ともに達成する結果となり、これまでの各部署の日々の努力が実を結びとても良い取組みとなったと思います。
 天候による電気使用量の変動、廃棄物情勢の変化に伴うリサイクル率の影響が次年度に大きく影響するため目標設定を慎重に検討していきたいと思います。
 次年度は、愛川支社への運搬車両等の移動に伴う燃料系使用量の目標検討、受託産業廃棄物のリサイクル率の新たな目標を設定して取り組んでいきたいと思います。

2018年8月23日

環境管理責任者 大崎 秀也

環境関連法規への違反、訴訟等の有無 (1)

文書番号	SE3001
調査年月日	2018年6月1日
調査者	栗原 隆

2017年度(2017年6月～2018年4月)において、法遵守確認表によるチェックの結果、
下表のとおり違反及び訴訟はありません。

自主的に検査した結果、過去5年間違反はありませんでした。

尚、関係当局よりの違反の指摘も、過去5年間ございません。

NO	環境関連法規等	違反の有無	訴訟の有無	備考
1	特定家庭用機器再商品化法	無し	無し	
2	食品リサイクル法	無し	無し	
3	廃掃法	無し	無し	※
4	下水道法	無し	無し	
5	浄化槽法	無し	無し	
6	自動車Nox・PM法	無し	無し	※
7	毒劇法	無し	無し	
8	道路交通法	無し	無し	※
9	道路運送車両法	無し	無し	※
10	道路法	無し	無し	※
11	東京都条例	無し	無し	※
12	神奈川県条例	無し	無し	※
13	横浜市条例	無し	無し	※
14	川崎市条例	無し	無し	※
15	相模原市条例	無し	無し	※
16	厚木市条例	無し	無し	※
17	町田市条例	無し	無し	※
18	貨物自動車運送事業法	無し	無し	

※印は、当社は特に重視しております。

環境関連法規への違反、訴訟等の有無 (2)

文書番号	SE3001
調査年月日	2018年6月1日
調査者	栗原 隆

2017年度(2017年6月～2018年4月)において、愛川工場の法遵守確認表による
チェックの結果、下表のとおり違反及び訴訟はありません。

自主的に検査した結果、過去5年間違反はありませんでした。

尚、関係当局よりの違反の指摘も、過去5年間ございません。

NO	環境関連法規等	違反の有無	訴訟の有無	備考
1	悪臭防止法	無し	無し	※
2	愛川町環境基本条例	無し	無し	
3	資源有効利用推進法	無し	無し	※
4	廃掃法	無し	無し	※
5	水質汚濁防止法	無し	無し	
6	フロン排出抑制法	無し	無し	
7	肥料取締法	無し	無し	※
8	火災予防条例	無し	無し	※
9	労働安全衛生法	無し	無し	

※印は、当社は特に重視しております。

□代表者による全体評価と見直し結果

指摘月日	2018年8月20日(月)
指摘箇所	2017年度 環境活動計画及び実績について
指摘内容	今期目標未達成のものについて検証と見直しの検討を行い、愛川支社については事業拡大に伴う各項目のデータ検証を行い未達成への対策を検討すること。
是正内容	1. 二酸化炭素排出量の削減 愛川支社が未達成となった。原因は車両増加、人員増加が事業形態変化に伴い発生したため。来期の目標設定の検討を行うこと。 2. 総排水量の削減 愛川支社が未達成となった。原因は人員増加に伴い使用量が増えたため。来期の目標設定を二酸化炭素排出量と同じく検討を行うこと。 3. 廃棄物の削減 廃棄物については目標を達成しているが、引き続き来期も目標を達成できるよう数量の把握をしながら管理を行っていくこと。
是正完了月日	2018年8月24日(金)
是正責任者	エコアクション21環境管理責任者 大崎 秀也
代表者 確認・記入欄	愛川支社の本格的なEMSの運用をした一年となりましたが、年度後半に事業拡大の一環として愛川支社の人員と車両を増やしたため当初の目標を達成できない原因の一つとなったしまった。来期はその点を踏まえ早急に検討をして適正な運用をお願いしたい。 来期は愛川支社も含め全社で目標が達成できるよう各部署より一層の努力をしてもらいたい。今期は良くできたと評価をしたい。 2018年8月29日(水) 赤石 賢治